



まいにちかいえん
~毎日開園 だれでも気軽に来られる動物園~
きがる こ どうぶつえん
ずー

2014年3月号
No. 23

200っといっしょ

今月のニュース!

◎春のベビーラッシュ!!

○ またまたモルモットの赤ちゃんが生まれました!!

今回はなんと1頭の親から5頭の赤ちゃんが生まれました。モルモットは平均2~4頭のこどもを産みます。残念ながら1頭は亡くなってしまいましたが、残りの4頭は現在もすくすくと育っています。



○ ムフロンの赤ちゃんが生まれました!!

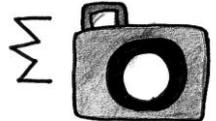
2月24日にムフロンの赤ちゃんが生まれました。現在ムフロン舎は工事のため、こどもの姿を見ることはできませんが、3月中には工事が終了する予定です。工事が終了後には、新しいムフロン舎とこどもの姿を見ることができるようになります。

○ ヒツジの赤ちゃんが生まれました!!

2月26日にヒツジの赤ちゃんが生まれました。しかも2頭のメスが同時に出産です。そして片方は双子だったので、3頭の赤ちゃんが誕生しました。お母さんたちは子育て奮闘中です。

○ 写真展開催中

旧クマ舎にて、桐生南高校と桐生工業高校の写真部のみなさんの作品を展示しています。動物たちの愛くるしい表情が写った写真ばかりです。ぜひ見に来てください。



○ リスザルが仲間入り!!

市川市動植物園からボリビアリスザルのオス「ヤンチャ」が仲間入りしました。現在はメスたちとお見合いをしています。これから3頭で仲良く過ごしてくれることを期待しています。

60周年イベント情報

平成25年4月1日に開園60周年を迎えた桐生が岡動物園!!

1年間いろんなイベントを行なってきましたが、最後のイベントは・・・動物園のひなまつりです。

ぜひ遊びに来てくださいね!!

動物園のひなまつり 3月3日(月)

エサやり体験

アジアゾウ 10:30~ 先着30名 ゾウ舎前 (整理券配布は10:00から)

ニホンザル 13:30~ 先着30名 サル山

ライオン特別ガイド 14:00からライオン舎前にて

ライオンのユウくんやアイちゃんについて飼育員さんからいろいろな話を聞くことができます。

タテガミや足型にさわられるかも!?



※なお、動物の体調や天候により内容が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

今回は3人の飼育員さんたちに、担当している動物たちについて話を聞きました♪

「春はシチメンチョウの恋の季節」



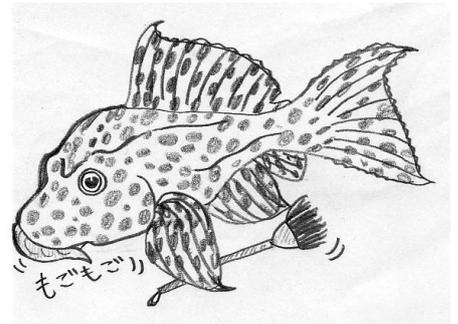
暖かくなってくる^{しよしゆん}初春頃からシチメンチョウたちは繁殖^{はんしよく}シーズンに入ります。アメリカに生息する野生のシチメンチョウは、繁殖シーズン以外^{せいそく}はオスとメスは別々に行動しています。オスは単独または2~4羽で集合し、メスは数羽~20羽くらいの集団で行動しています。そして恋の季節がやってくるとオスとメスの集団は一緒になり、群れの中で順位の高いオスだけメスと交尾をします。

動物園のシチメンチョウたちはオスとメスはいつも一緒にいますが、オスはメスに羽を広げて鼻肉垂れを伸ばしてアピールをします。メスも受け入れるとオス側に行き、姿勢を低くして待つ行動が見られます。普段とは違うシチメンチョウたちの行動に注目して見て下さい。

「水槽のお掃除屋さん」

水族館にいるプレコをよーく見て下さい。なにやら口をもごもごさせているのに気づきましたか？

いったい何をしているのかというと、水槽のコケや汚れを食べているのです。口に吸盤^{きゆうばん}がついているため、その吸盤で水槽の側面にくっついていすることができます。おかげで水槽はきれいな状態が長続きます。プレコは毎日コツコツ掃除をしつづけてくれるお掃除屋さんなのです。



「どうぶつたちの妊娠期間」

動物たちは種類によって、妊娠期間がさまざまです。大きなゾウは約 650 日、ライオンは約 110 日、カンガルーはといえば約 36 日です。

種類によってびっくりするくらい妊娠期間が違います。ゾウの赤ちゃんは生まれたときから 100kg を越えています。ライオンは 1~2kg、カンガルーの赤ちゃんは約 1g。大きさの違いにも驚かされますが、これは体のしくみや子育ての仕方、暮らす環境などが違うためです。

モルモットの赤ちゃんを見ると、生まれたときから毛が生えていて眼も開いています。そしてすぐに草などをモグモグ。それに比べウサギは、毛も無く眼も開いていない赤ちゃんを産みます。春は出産シーズンです。すぐに自分でいろいろなことができるようになる動物、みんなで協力して子育てをする動物など、子育ての様子に注目するといつもとは違った視点で楽しめると思います。

